

ここから見える光景は希望

6日、東京都内でおこなわれた戦争法廃止をめざす学生・学者・市民の共同行動。日比谷野外音楽堂で開かれた集会では、「大きな共同の輪を広げよう」というスピーチに、参加者は大きな連帯の拍手を送りました。

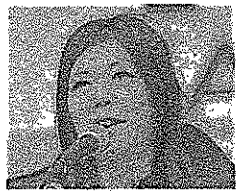
各界からスピーチ



「戦争反対☆1206銀座大行進」の日比谷野外音楽堂で開かれた集会に参加する人たち＝6日、東京都千代田区

参院選まで全力

総がかり行動実行委員会の高田健さんは、「強行採決後もたたかいはやめるわけにはいかない」と強調。次の選挙で安倍内閣に痛打を与えるために野党共同法廃止を求め、2000万人署名を広げることと呼びかけました。



ミサオ・レッドウルフさん



高田健さん

「辺野古基地や原発など安倍政権のさまざまな悪政の中心に戦争法をすえて参院選をたたかいたい。みなさんとこの2年間で



三島憲一さん



くるみさん

共同が一つの目標になっていると指摘しました。「私たち市民は共に闘っている。あとは野党がどれだけ乗ってくるか」ところにか



佐高信さん



諏訪原健さん

つくり上げた団結、連帯の力をもって引き続き全力をあげてがんばりたい」と話しました。

市民の連帯が力

首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさんは、戦争法の強行採決後、市民が連帯し野党がそれに加わるという成果があったと強調。来年の選挙に向けて共同が一つの目標になっていると指摘しました。

未来を諦めない

シールズのメンバー

で大学1年のくるみさんは、「現政権によって立憲主義が侮辱されたこの年を忘れません。そして、自由と民主主義を諦めない多くの人々とつながれたこの年を忘れることができません」と語りまし

「理想の社会とは、あなたがたにとって理想の社会とはどういったものですか？」と、参加者に問いかけたのはシールズのメンバーで筑波大学大学院1年の諏訪原健さんです。

「あなたにとって理想の社会とは、あなたがたにとって理想の社会とはどういったものですか？」と、参加者に問いかけたのはシールズのメンバーで筑波大学大学院1年の諏訪原健さんです。

「安倍政権から私たちの手で民主主義を取り戻す。戦争法を廃止する。そして原発を止めるために今後も一緒にがんばりましょう」と訴えました。

「憲法を守れ。勝手に決めるな。自由を守れ。子どもを守れ。そんな当たり前のことをいわなければいけない社会は終わりにしよう」と訴えました。

「参議院と参議院を大掃除しよう」というシールズのスピーチが忘れられないと話し、「次回選挙まで長い期間だからこそチャンスもある。法律の問題点を語り続けていこうではありませんか」と呼びかけました。

評論家の佐高信さんは、TBSの「NEWS23」に出演しているジャーナリスト、岸井成格さんを名指しで攻撃した新聞広告を批判。彼は戦争法を廃案にしろと主張しただけ。当たり前のことではありませんかと話しました。「みなさんも一緒に、ぜひ彼を支えてほしい」と訴えました。